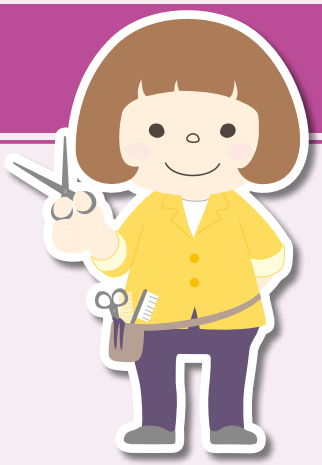

美容業
HAIR-DRESSING AND BEAUTY SALON

美容業とは

美容業は、日本標準産業分類において、「生活関連サービス業、娯楽業」（大分類）–「洗濯・理容・美容・浴場業」（中分類）に分類され、「主としてパーマネントウェーブ、結髪、化粧などの美容サービスを提供する事業所」と定義されています。

ネイルサービス業、リラクゼーション業（ヘッドセラピー等）、エステティック業（ボディケア等）などは、「その他の洗濯・理容・美容・浴場業」（中分類）に該当し、いわゆる美容院・美容室が属する「美容業」とは別の業種です。また、混同されがちですが、理容業は、「主として頭髪の刈り込み、顔そりなどの理容サービスを提供する事業所」のことで、美容業とは異なります。

美容師の仕事	理容師の仕事
パーマネントウェーブ、結髪、化粧等の方法により容姿を美しくすること（美容師法第２条に定義）	頭髪の刈込、顔そり等の方法により容姿を整えること（理容師法第１条の２に定義）

許認可

創業に伴い美容師免許を取得するケースはあまりありません。多くは、すでに美容師免許を取得している方が独立開業されるケースで、店舗開設の届出をすることによって開業が可能です。
現在、美容院でエステなど、美容業以外のサービスが１店舗で受けられるような営業形態も見受けられます。その場合、それぞれのサービスについて許認可が必要か確認する必要があります。利用者側から見るとよく似たサービスであっても、それぞれ必要な許認可等に違いがあるため、十分確認するようにしてください。

美容業届出に関する相談窓口：営業所の所在地管轄の保健所

point ! 事業計画のポイント・留意点

美容院の場合、納得できる物件探しに時間を要することが多いため、余裕を持って準備をすることがポイントです。サービス提供者である美容師自身のスキルや経験によってリピート率に大きく影響するため、優秀な美容師を確保することが課題となる点に留意してください。

美容業（美容院）創業計画書例

顧客番号					-					

（創業関連保証・再挑戦支援保証用）

創業・再挑戦計画書

大阪信用保証協会　御中

令和
西暦　　年　　月　　日
（どちらかに○印を付けてください）

〔申込人〕
住　　所
会　社　名
氏名または
代 表 者 名

創業関連保証・再挑戦支援保証の申込みにあたり、以下のとおり創業・再挑戦計画を提出します。

1. 事業概要

開 業 形 態	個人事業・会社事業	商　号（個人） 会社名（会社）	
開業（予定）住所	電話　（　　）		
開業届出（個人） 設立登記（法人）	有　・　無	開業（予定）年月日 設立（予定）年月日	令和 西暦　年　月　日
業　種	美容院	資 本 金	〔会社設立（予定）の場合〕 円
許 可 等 ［許可等取得が必要な場合］	（種類）美容所開設届 （許可・免許・登録・認証の別を記入）	（根拠法）美容師法 ［取得すべき許可等の根拠法を記入（（例）食品衛生法）］	
従業員数	2	取扱品：カット、カラー、パーマ　等	仕入先：（株）○○ ○○（株）
開業動機・目的	専門学校卒業後、10年間美容師として経験を積み、自分を信頼してくれる顧客もできた。 勤め先の社長からのバックアップも得られることになり、理想の物件めぐりもできた。 従業員が働きがいのある環境を作ることで、満足度の高いサービスを提供する。		
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	10年の美容師経験で培った技術、顧客との信頼関係。以前勤めていたチェーン店では、リピート率１位を獲得するほどの実績を残し、従業員の研修指導の責任者も経験した。		
〔会社設立予定の場合〕 出資者・出資額			
事業協力者の住所・氏名・勤務先			

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

ア　設備機械器具等発注済である。
イ　土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
（ウ）土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
エ　商品・原材料の仕入を行っている。
オ　事業に必要な許認可を受けている。
（カ）事業に必要な許認可取得未了（許認可取得見込み（申請状況や取得予定時期等）を具体的に記入してください。）
（速やかに申請し、２ヵ月以内に取得します。　　）
キ　その他（具体的に記入して下さい　　）

3. 運転資金計画

名　　称	金　　額	積　算　内　訳
商品・材料等の仕入資金	290 千円	創業時の仕入１か月分
人　件　費　等	600 千円	人件費１か月分
そ の 他 の 資 金	610 千円	家賃、その他経費１か月＋予備費 110 千円
計	A　1,500 千円	

予備費を多くすることで、余裕のある計画としている

4. 設備計画

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

区分	土地・建物	面　積	取得方法［自己・新築／取得・賃貸］	取得に要する資金	契約年月日	取得（完成）年　月　日
事業用不動産	土　地	㎡		千円		
	建　物	75 ㎡	賃貸 保証金	2,500 千円		
	計	B	（取得に要する資金）	2,500	千円	

区分	名　称	型式・能力	数 量	単 価	金　額	発 注 先	設置（完成）年　月　日
機械器具・什器備品等	内外装工事費	○○○	○	○○	3,500 千円	○○○	
	設備	○○○	○	○○	3,000 千円	○○○	
	備品	○○○	○	○○	500 千円	○○○	
	計	C	（金額）		7,000	千　円	

5. 今回の資金計画による必要資金合計

A＋B＋C＝　11,000　千円（D）

※「◆資金調達計画」の合計額（D）と一致させてください。

6. 資金調達計画

	預　金			預　金　以　外	
	預け先（金融機関本支店名等）	預金種別	金　額	種　類	金　額
自己資金	○○銀行○○支店	普通	1,500 千円	有価証券	千円
			千円	賃貸 保証金	2,500 千円
			千円	その他（具体的に） （　　）	千円
			千円		
	自 己 資 金 合 計		4,000 千円		

	借　入　先	年利	借 入 額	毎月返済額	借入期間
借入金等（※）	今回の借入額	○.○%	7,000 千円	117 千円	'22.○.○～'27.○.○
			千円		・　～　・
			千円		・　～　・
			千円		・　～　・
	借 入 金 等 合 計		7,000 千円	調達資金 合計	D　11,000 千円

（※）今回の資金調達計画の中による借入金等をご記入ください。

※年間返済額1,404千円
※借入金は利益で返済できるよう計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

売上の17%と設定

7. 収支計画（今後1年間分）

支	出	収	入
仕入高	3,670 千円	売上高	21,589 千円
外注工費	千円	工賃収入	
人件費	7,200 千円	雑収入	
その他費用	6,000 千円		
利益	4,719 千円		
計	21,589 千円	計	21,589 千円

【客数・単価根拠より】
サービス 19,626千円
物販 1,963千円

※個人事業の場合、事業主の給与は除きます。

※利益の計画額によっては、借入条件の見直し（本計画の場合、借入期間を短縮し、返済額を増額する）を検討しても良いでしょう。

8. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客	年 21,589 千円	現金・カード	（株）○○	年 2,600 千円	月末締め 翌月○日現金払
			○○（株）	年 1,070 千円	20日締め 翌月○日現金払

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

9. 借入金等状況（※）

借入先等	資金使途	借入残高	残存返済期間	年間返済額
○○銀行	自動車ローン	3,600 千円	36 ヶ月	1,200 千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

（※）現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
（経営者本人が負担している保証債務も含みます）。

■客数根拠

平日　3名（スタッフ）×3名（客数）×18日＝162人
土日　3名（スタッフ）×4名（客数）×8日＝96人
月当たり客数　合計　258人
認知度UPのため、6か月目より10%増の客数（283人／月）とする

見込顧客　158人（既存顧客）
新規顧客　SNSの繋がり　500名×5%＝25人
DM配布先　1,000名×5%＝50人
※顧客リストあり
その他、新聞折込、ポスティング、駅前にて配布などにより25人　※前職実績

■単価根拠

カット・カラー 4,000円　パーマ 8,000円
＊カットのみ　70%×4,000円
＊カット＆カラー　15%×8,000円
＊カット＆パーマ　10%×12,000円
＊カット＆カラー＆パーマ　5%×16,000円
平均単価　6,000円
その他物販で売上の10%を見込む　※前職実績

仕入＝売上の17%（同業種平均）

人件費：300千円/月×2名
家賃：250千円/月
その他経費：250千円/月（通勤交通費30千円/月、光熱費90千円/月、ほか広告宣伝費、消耗品費、減価償却費、借入金利息など）

美容業（美容院）創業計画書例

10. 自己資金算定額

	種類	明細	金額
自己資金等	普通預金	○○銀行○○支店	2,700 千円
	定期性預金		
	有価証券等		
	入居保証金等	賃貸 保証金	2,500 千円
	設備充当等		
	合計		① 5,200 千円

	借入先	資金使途	残存返済期間	年間返済額	年間返済額の2年分（2年以内のものは全額）
借入金等	○○銀行	自動車ローン	36 ヶ月	1,200 千円	2,400 千円
	合計				② 2,400 千円
自己資金額（①－②）＝					③ 2,800 千円

11. その他（計画に関する補足説明がありましたらご記入ください）

子ども連れでも来店しやすいよう、絵本コーナーを設ける。
内装もウッド調にし、あたたかみのある店舗を目指す。
リピーターを増やすために、スタンプカードを発行し、シャンプー無料サービスなどを提供する。